

CONTENTS

特集
Special Features

失われゆく情報の復元・保存技術 —人文科学における情報処理— (博物館・美術館・遺跡・埋蔵品)

Restoration and Preservation Technologies for Vanishing Information : Information Processing in the Humanities

- 1052 デジタルアーカイブとVR表現 加茂竜一
Digital Archives and Virtual Reality Ryuichi KAMO (Toppan Printing Co., Ltd.)
- 1058 博物館における資料のデジタル化とその活用 安達文夫・鈴木卓治
Digitization of Materials in Museums for Practical Use Fumio ADACHI and Takuzi SUZUKI (National Museum of Japanese History)
- 1064 考古学的ビジュアライゼーション 小沢一雅
Archaeological Visualization Kazumasa OZAWA (Osaka Electro-Communication Univ.)
- 1070 考古遺物用3Dデジタルアーカイブシステムの開発とデータ活用法の研究 塚本敏夫
Development of the 3-Dimensional Form Measurement System for Archaeological Remains, and Research of the Data Utilizing Method Toshio TSUKAMOTO (Gangoji Institute for Culture Property)

事例
Case Study

- 1078 情報セキュリティの動向とトータルセキュリティソリューション 金野千里
The Trends of Information System Security and Total Security Solution Chisato KONNO (Hitachi, Ltd.)

解説
Articles

- 1085 コミュニケーションに埋もれた知識を活用するコミュニティウェア 梅木秀雄
Communityware Leveraging Knowledge via Communication Hideo UMEKI (Toshiba Corp.)

連載
Series

- 1093 日本の情報処理技術の足跡 漢字・日本語処理技術の発展：日本語の入出力と処理 浦城恒雄
The Trail of the Information Processing Technology in Japan : Advances in Kanji/Japanese Processing Technologies : Input/Output Method in the Early Stage Tsuneo URAKI (Tokyo Univ. of Technology)
- 1099 日本の情報処理技術の足跡 漢字・日本語処理技術の発展：仮名漢字変換技術 小林龍生
The Trail of the Information Processing Technology in Japan : Advances in Kanji/Japanese Processing Technologies : Kana-Kanji Transfer Technology Tatsuo KOBAYASHI (Justsystem Digital Culture Research Center)

連載 Series

- 1108** とつきよの話 「プレゼンテーション」としての特許出願 相崎裕恒
Patents of the Day: Patent Application Drafting as Technical Presentation Hirotsune AIZAKI (Japan Patent Office)
- 1112** プログラム・プロムナード 六角形の組合せ 寺田 実
Program Promenade: Congruent Patterns on Beehives Minoru TERADA (The Univ. of Electro-Communications)

コラム Columns

- 1104** ITルネサンスのために：ヒューマンインタフェースの復権を
連載開始にあたって 天野真家
Toward the IT Renaissance: May "Human Interface" Emerge!: Foreword shinya AMANO (Toshiba Corp.)
- 1106** ITルネサンスのために：ヒューマンインタフェースの復権を
新たな概念に対する人間の認知能力：操作とコード 天野真家
Toward the IT Renaissance: May "Human Interface" Emerge!: On Human Cognitive Competence Against Inexperienced Concepts: Operations vs. Codes shinya AMANO (Toshiba Corp.)
- 1118** 20世紀の名著名論
John von Neumann: Theory of Self-Reproducing Automata 和田英一
Prominent Books and Articles in the 20th Century: John von Neumann: Theory of Self-Reproducing Automata Eiiti WADA (III Research Lab.)
- 1119** 20世紀の名著名論
C. E. Shannon: A Mathematical Theory of Communications 有本 卓
Prominent Books and Articles in the 20th Century: C. E. Shannon: A Mathematical Theory of Communications Suguru ARIMOTO (Ritsumeikan Univ.)
- 1120** モバイルは今 位置情報にかかわる技術 砂原秀樹
Mobile Technologies, Now: Technology for Geographical Location Information Hideki SUNAHARA (Nara Institute of Science and Technology)
- 1122** アメリカITまわりの話題 SSNのお話 宮川 晋
IT Topics in the US: Social Security Number Shin MIYAKAWA (NTT Communications / Keio Univ.)
- 1124** 研究会たより パワーポイント学者 萩谷昌己
Letter from SIG: Devotees of PowerPoint Masami HAGIYA (The Univ. of Tokyo)

会議レポート Conference Reports

- 1126** 第19回計算言語学国際会議
- 1127** WWDU 2002

トピックス Topics

- 1129** 情報技術の国際標準化と日本の対応-2001年度のISO/IEC JTC 1
および情報規格調査会の活動- 情報規格調査会



その他

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1125 著者紹介一覧 | 1140 人材募集 |
| 1128 おふいすらん | 1145 有料会告 |
| 1135 おふいすらん | 1146 アンケート用紙 |
| 1136 会員の広場 | 1147 編集室/次号予定目次 |
| 1138 IPSJ カレンダー | 1148 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |

編集系独白

特集は先月に引き続き、今月も「失われゆく情報の復元・保存技術」(ゲストエディタ山田奨治)である。今回は復元が中心であったのに対し、今回は保存技術に重点をおく。

新シリーズ「ITルネサンスのために: ヒューマンインタフェースの復権」が始まる。マルチメディアとインターネットで家庭にもITルネサンスが到来したが、劣悪HIをなんとかしたいというのが、シリーズの狙いだ。初回は天野真家の「新たな概念に対する人間の認知能力: 操作とコード」。初めてワープロを操作したタイピストは文字コードは分かったのに、復帰改行の意味は理解できなかったという話。編集子の場合は小学生のころ、印刷電信機が恐ろしい速さで英文を印字し、目にもとまらず素早く次行へ進むのに驚くが、紙テープにCRLFが入っているのを知る。左様な経験のため、計算機時代になってもまったく違和感なし。

歴史特別委員会による「日本の情報処理技術の足跡」の連載も始まった。これもたまたまワープロに縁があって、最初は「漢字・日本語処理技術の発展」のうち2編、浦城恒雄による「日本語の入出力と処理」と小林龍生による「仮名漢字変換技術」である。これらはワープロの要素技術に過ぎず、「ワープロ」それ自身については、来月あたりを期待されたい。

なお歴史特別委員会は学会のホームページに「コンピュータ博物館」を公開中。ぜひご覧あれ。

ブロードバンド、常時接続の普及につれ、セキュリティ対策はますます重要になりつつある。「情報セキュリティの動向とトータルセキュリティソリューション」(金野千里)には9つの対策が詳述してある。ひとごとと思わず、ぜひお読みいただきたい。世の中なんでもこんなにセキュリティホールだらけなのか。システムが複雑怪奇になってきて、だれにもどこがどうなっているか掴めなくなったからだとは分かっているけど、すでにどうすることもできず、クラッカーとのイタチごっこを繰り返すだけになっている。いつサイバーテロが起きても不思議なし。

セキュリティもさることながら、HDDにたまる一方のファイルもやがて問題を引き起こすであろう。「コミュニケーションに埋もれた知識を活用するコミュニティウェア」(梅木秀雄)は、いわばファイルの超整理法である。受信したメールを、すべて返信に引用する悪習もあるので、メール長は単調増加する。それまでのやりとりが全部含まれているなら、最後のメールだけ保存すればよいのだが、どれが最後になるか分からぬから、途中のもすべてとってあるわけだ。

相崎裕恒が担当したときよの話「プレゼンテーション」としての特許出願では、「特許請求の範囲」や「発明の詳細な説明」などの「明細書」が実は審査官や裁判官に対するプレゼンテーションであるとの立場で、それらを書く場合の心得が説明してある。

プログラム・プロムナードは寺田実の「六角形の組合せ」。蜂の巣上に連結して並んでいる六角形群の多様な記述のうち、同じものはどれかという問題。四角でないだけに工夫が必要。

先頃始まった住基ネット(もっと上品な省略はないのかね)が新聞テレビで喧しいが、「アメリカITまわりの話題」では宮川晋がSSNのお話を書いている。

名著名論は有本卓がShannonの通信理論、和田英一がvon Neumannの自己増殖機械を紹介。いくなればスーパー名著の揃い踏みとなったが、これでこのコラムが終わるわけではない。コラムは続くよ、どこまでも、野を越え、山越え、谷越えて、...

萩谷の「研究会たより」はいつも原稿が滑り込みセーフ状態なので、この目次では最近無視しているが、9月号の「情報の分野は学問の粒度が大きく、ベーシックサイエンスである」の意見には大賛成ぢゃ。(jrh)



会誌編集委員会
編集長 和田 英一
担当理事 天野 真家
丸山 宏
本号エディタ
安藤 利光
泉 正夫
片岡 欣夫
白井 清昭
平井 千秋
前川 仁孝
前田 敦司
松下 光範
森川 直人
山田 奨治

編集スタッフ
後路 啓子
湯本 祐子
綿谷 亜樹

■ 43巻10号掲載広告目次(五十音順)

IDG ジャパン 表2
インタフェース..... 表2 対向
エッチ・アイ・ティー 表4
オーム社..... 前付3
サイエンス社..... 前付4,5

住商エレクトロニクス..... 前付2
ソフト・リサーチ・センター 前付最終上
日本バイナリー..... 目次前
陽栄ハウジング..... 表3

*掲載広告のカタログ・資料をご希望の方は、お名前、電話番号、勤務先または学校名を明記の上、E-mailまたはFaxにてご請求ください。

広告総代理店 (株) 精機通信社
E-mail:sei@ss-com.co.jp
Fax(03)3368-1519